



2018年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年2月9日

上場会社名 関西ペイント株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4613 URL <http://www.kansai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石野 博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 浅妻 慎司 TEL 06-6203-5531
 四半期報告書提出予定日 2018年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期第3四半期の連結業績(2017年4月1日～2017年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第3四半期	298,064	21.8	28,768	9.8	32,081	8.3	17,903	3.7
2017年3月期第3四半期	244,736	1.9	26,189	3.4	29,614	0.4	18,590	11.3

(注) 包括利益 2018年3月期第3四半期 35,427百万円 (117.9%) 2017年3月期第3四半期 16,259百万円 (339.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第3四半期	69.58	60.37
2017年3月期第3四半期	71.49	62.47

(注) 2017年3月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2017年3月期第3四半期の四半期連結財務諸表について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年3月期第3四半期	602,040	322,400	46.1
2017年3月期	540,458	296,165	46.9

(参考) 自己資本 2018年3月期第3四半期 277,723百万円 2017年3月期 253,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期		11.00		11.00	22.00
2018年3月期		13.50			
2018年3月期(予想)				13.50	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日～2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	21.1	39,000	10.4	43,500	8.7	26,000	7.6	101.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年3月期3Q	272,623,270 株	2017年3月期	272,623,270 株
期末自己株式数	2018年3月期3Q	15,353,041 株	2017年3月期	15,286,492 株
期中平均株式数(四半期累計)	2018年3月期3Q	257,303,147 株	2017年3月期3Q	260,044,362 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期における世界経済は、地政学的リスクの高まりや、各国の政治・政策動向など依然として不確実性が見られますが、米国の好調な企業マインドや雇用の改善、欧州の底堅い個人消費などに加え、中国を始めアジア新興国も各種政策の効果により景気を持ち直しの動きが継続しました。わが国経済は、世界景気や雇用所得環境の改善を受け、景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は2,980億64百万円（前年同期比21.8%増）となりましたが、営業利益は原材料価格高騰や販売費及び一般管理費が増加したことにより287億68百万円（前年同期比9.8%増）となりました。経常利益は為替差損が減少したものの、アジアでの持分法投資利益が減少したことなどにより320億81百万円（前年同期比8.3%増）となりました。また、日本において退職給付制度改定益の計上がありました一方、土地の減損損失を計上しました。さらに、アフリカにおいて早期割増退職金を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は179億3百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

各セグメントの状況は以下のとおりであります。

なお、前第4四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

《日本》

自動車分野は、新車用分野では自動車生産台数が前年を上回り、売上は伸長しました。工業分野では、建設機械向け塗料などが堅調に推移し、売上は前年を上回りました。船舶分野及び防食分野においては市況に回復の動きが見られ、売上は前年を上回りました。自動車分野（補修用）では、市況が低調に推移するなか、高付加価値製品の拡販継続に努め、売上は僅かながら上回りました。建築分野においては、市況の本格的回復にはいたらず、売上は前年を下回りました。これらの結果、当セグメント全体の売上は前年を上回りました。また、為替差損が減少したことや引き続きトータルコスト低減にも努め、利益は増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は1,173億52百万円（前年同期比4.1%増）、経常利益は180億95百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

《インド》

引き続き経済が伸長するなか、自動車分野では自動車生産台数の増加が続き、売上は伸長しました。建築分野においても、需要拡大が継続するなか販売活動の促進に取組み、売上は伸長しました。原材料価格高騰の影響を受けたものの、コスト低減に努め、利益は増加しました。また、円貨ベースでの業績は、為替換算による押し上げの影響を受けました。

これらの結果、当セグメントの売上高は642億96百万円（前年同期比14.5%増）、経常利益は106億7百万円（前年同期比20.1%増）となりました。

《アジア》

中国においては、自動車生産は堅調に推移し、自動車分野での売上は前年を上回りました。また、工業分野の売上は建設機械向け塗料などが伸長し、中国全体での売上は前年を上回りました。一方、ローカル自動車メーカー向けの販売が振るわなかったことから持分法投資利益は減少しました。インドネシアにおいては、経済が堅調に推移するなか、自動車分野及び建築分野において売上は前年を上回りました。タイにおいては、自動車生産に回復の動きが見られたものの、業績は前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は468億68百万円（前年同期比12.4%増）となりましたが、経常利益は原材料価格高騰の影響や販売費及び一般管理費が増加したことなどにより31億円（前年同期比37.3%減）となりました。

《アフリカ》

南アフリカ及び近隣諸国の経済が低迷するなか、引き続き販売活動の促進に努めました。また、2017年8月に連結子会社化した、東アフリカ地域各社の業績が寄与し、売上は前年を上回りました。しかしながら、通貨安による原材料価格の高騰及び価格競争の激化、また株式取得関連費用を計上したことなどから、収益は大きく圧迫され、業績は前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は240億45百万円（前年同期比18.8%増）、経常損益はのれんの償却を含め経常損失40億円（前年同期比 - %）となりました。

《欧州》

トルコでは、自動車生産の増加及び販売活動促進の取組により、現地通貨ベースでは売上は大きく増加し、各種コスト低減にも努めました結果、利益も大きく増加しました。しかしながら、円貨ベースでの業績は為替換算による押し下げの影響を受けました。

なお、第1四半期連結会計期間より、トルコのPolisan Kansai Boya Sanayi Ve Ticaret A.S.の業績を、のれんの償却を含め持分法投資利益に計上しております。

また、第2四半期連結会計期間より、Kansai Helios Groupの業績を、のれんの償却を含め計上しております。

これらの結果、当セグメントの売上高は414億87百万円（前年同期比232.2%増）、経常利益は35億42百万円（前年同期比407.0%増）となりました。

《その他》

北米では自動車生産は低調に推移し、競争の激化等の影響もあり、持分法投資利益は減少しました。

なお、2016年8月に連結子会社化した、米国のU.S. Paint Corporationの業績を、のれんの償却を含め計上しております。

これらの結果、当セグメントの売上高は40億15百万円（前年同期比183.5%増）、経常利益は7億37百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産額は、6,020億40百万円となり、前連結会計年度末と比べ、615億82百万円の増加となりました。これは、主に受取手形及び売掛金、投資有価証券、のれんの増加によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、2,796億40百万円となり、前連結会計年度末と比べ、353億47百万円の増加となりました。これは、主に短期借入金、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、3,224億円となり、前連結会計年度末と比べ、262億35百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2017年11月10日発表の通期連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53,027	52,934
受取手形及び売掛金	103,199	122,080
有価証券	9,181	11,068
商品及び製品	33,610	34,304
仕掛品	4,252	5,464
原材料及び貯蔵品	21,274	23,655
その他	12,644	15,816
貸倒引当金	△3,237	△3,741
流動資産合計	233,953	261,582
固定資産		
有形固定資産	110,564	118,475
無形固定資産		
のれん	44,215	55,316
その他	24,010	22,356
無形固定資産合計	68,226	77,673
投資その他の資産		
投資有価証券	95,830	109,552
その他	33,012	36,061
貸倒引当金	△1,129	△1,304
投資その他の資産合計	127,713	144,309
固定資産合計	306,505	340,458
資産合計	540,458	602,040

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,382	68,294
短期借入金	8,520	26,970
未払法人税等	4,374	3,302
賞与引当金	4,770	3,624
その他	22,426	28,047
流動負債合計	99,472	130,240
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	101,587	101,099
退職給付に係る負債	9,632	8,460
その他	33,600	39,839
固定負債合計	144,820	149,399
負債合計	244,293	279,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,658	25,658
資本剰余金	14,421	13,262
利益剰余金	218,880	230,458
自己株式	△25,088	△25,260
株主資本合計	233,872	244,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,229	41,651
繰延ヘッジ損益	-	△612
為替換算調整勘定	△12,548	△8,092
退職給付に係る調整累計額	794	657
その他の包括利益累計額合計	19,475	33,604
非支配株主持分	42,817	44,677
純資産合計	296,165	322,400
負債純資産合計	540,458	602,040

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
売上高	244,736	298,064
売上原価	161,837	199,039
売上総利益	82,899	99,025
販売費及び一般管理費	56,710	70,256
営業利益	26,189	28,768
営業外収益		
受取利息	681	1,023
受取配当金	1,411	1,494
持分法による投資利益	3,228	1,440
為替差益	-	171
雑収入	962	1,039
営業外収益合計	6,283	5,169
営業外費用		
支払利息	689	988
社債利息	63	-
たな卸資産廃棄損	128	145
為替差損	1,447	-
支払補償費	88	419
雑支出	439	302
営業外費用合計	2,858	1,856
経常利益	29,614	32,081
特別利益		
固定資産売却益	137	37
関係会社株式売却益	0	-
投資有価証券売却益	812	506
退職給付制度改定益	-	760
特別利益合計	951	1,304
特別損失		
固定資産除売却損	124	226
投資有価証券評価損	0	-
減損損失	-	301
早期割増退職金	-	468
特別損失合計	124	996
税金等調整前四半期純利益	30,441	32,388
法人税等	8,819	11,268
四半期純利益	21,622	21,120
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,031	3,217
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,590	17,903

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
四半期純利益	21,622	21,120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,157	9,387
繰延ヘッジ損益	△58	△612
為替換算調整勘定	△10,808	4,836
退職給付に係る調整額	△194	△137
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,458	832
その他の包括利益合計	△5,362	14,306
四半期包括利益	16,259	35,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,628	32,032
非支配株主に係る四半期包括利益	△369	3,394

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	アジア	アフリカ	欧州	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	112,712	56,173	41,710	20,236	12,487	243,320	1,416	244,736	-	244,736
(2) セグメント間の内部 売上高または振替 高	11,428	12	2,534	133	30	14,139	-	14,139	△14,139	-
計	124,141	56,185	44,245	20,369	12,517	257,459	1,416	258,875	△14,139	244,736
セグメント利益または損失 (△)	16,924	8,829	4,940	△2,566	698	28,826	787	29,614	-	29,614

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益または損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域
 インド……インド、ネパール等
 アジア……タイ、中国、インドネシア等
 アフリカ……南アフリカ、ジンバブエ、ナミビア等
 欧州……トルコ等

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間にU.S. Paint Corporationの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことから、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、2,613百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	アジア	アフリカ	欧州	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	117,352	64,296	46,868	24,045	41,487	294,049	4,015	298,064	-	298,064
(2) セグメント間の内部 売上高または振替 高	12,721	44	2,759	212	43	15,781	-	15,781	△15,781	-
計	130,074	64,341	49,627	24,257	41,530	309,831	4,015	313,846	△15,781	298,064
セグメント利益または損失 (△)	18,095	10,607	3,100	△4,000	3,542	31,343	737	32,081	-	32,081

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益または損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。
4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域
 インド……インド、ネパール等
 アジア……タイ、中国、インドネシア等
 アフリカ……南アフリカ、ジンバブエ、ウガンダ等
 欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア、ルクセンブルク等

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第4四半期連結会計期間より、量的な重要性が増したため、「その他」の区分に含まれていた「欧州」を報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「日本」セグメントにおいて減損損失301百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

前第2四半期連結会計期間に実施したU.S. Paint Corporationの企業結合に係る暫定的な会計処理は、前連結会計年度末に確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴い、前第3四半期連結累計期間ののれんの金額の重要な変動は、当該見直し反映後のものを記載しております。

「アフリカ」セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間にSadolin Group各社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことから、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、9,667百万円でありませぬ。なお、当該金額は暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。